

特集1：メディケア(公的高齢者医療保険)

その5：メディケア・サプリメント

By: 河野圭子さん

ノースカロライナ州保険部認定 SHIIP Counselor
アメリカ病院経営士会認定病院経営士

これまでのメディケアシリーズ

1) メディケアの基礎：2020年4月号

2) メディケア申請から加入：2020年7月号

3) メディケア再検討変更期間について：2020年8月号

4) メディケア・アドバンテージ、お薬パートD比較ツール：2020年9月号

* * *

メディケア・サプリメントのポイント

メディケア・サプリメント（メディギャップ）に関する情報が氾濫しており、選び方や時期などわかりにくいくらいかもしれません。今回は、メディケア・サプリメントについて整理してみます。

Standardized Medicare Supplement Plan Comparison Chart										
BENEFITS	PLANS AVAILABLE TO ALL APPLICANTS									
	A	B	D	G	K	L	M	N	PLANS ELIGIBLE BEFORE 2020 ONLY	2020 ONLY
Medicare Part A Hospital insurance coverage (as to amount after Medicare benefits are used up)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Medicare Part B commerce or replacement coverage	✓	✓	✓	✓	50%	75%	✓	✓ ¹	✓	✓
Medicare Part B (first \$3,000)	✓	✓	✓	✓	50%	75%	✓	✓	✓	✓
Part C home care insurance (as to copayments)	✓	✓	✓	✓	50%	75%	✓	✓	✓	✓
Skilled nursing facility insurance					50%	75%	✓	✓	✓	✓
Medicare Part A deductible	✓	✓	✓	✓	50%	75%	50%	✓	✓	✓
Medicare Part B deductible									✓	✓
Medicare Part B excess charges					✓					✓
Foreign travel emergency car plan premium	✓	✓				✓	✓	✓		✓
Out-of-pocket limit in 2020?				\$1,880 ²	\$2,598 ²					

プランA,B,DはメディケアのパートA,B,Dとは違います！> から選べます。それ以前、既にプランCとFに加入されている方は、引き続き継続できますのでご安心ください。

保険料は、プランによりますが、例えば人気のGプランは、\$100～\$300前後です。保険料に差がありますが、プランGの給付内容は全く同じなので、将来の保険料の値上がりも考えて保険を選びたいものです。Gプランは、パートBの免責金(2020年は\$198)まで払うと、メディケアの自己負担金を全て支払ってくれます。

サプリメントは、任意加入なので、メディケアのパートBやパートDのようにペナルティーはありません。しかし、いつでも加入と脱退ができるかというと、要注意。次の2つの加入方法をご覗ください。各州でルールが違うのですが、大枠では下記のパターンです（MA州、MN州 WI州は独自のルール有り）。

① Guaranteed issue rightsの時期：既往歴や健康状態により保険料増額されたり、加入拒否を受けないで入れる時期：多くの州は65歳のメディケアの申請時期やパートB受給から半年以内などを条件にしています。それを過ぎると、②になります。

② 上の①を過ぎて加入申請：保険会社は、既往歴や健康を調べて、この結果により保険料増額や加入拒否ができます。ですので、高齢や病気になってから加入申請する場合、あるいは、一度サプリメントに加入してやめてしまうと、入り直しが難しい理由はここにあります。

●メディケア・サプリメントのメリットと考慮すべき点なのですが、実際の相談から参考になりそうな例を書いてみます。

《その1》 65歳でメディケアに加入し、オリジナル・メディケアを選んだAさん。Aさんは、サプリメントに加入後、1年間病気にならなければ\$1,680(\$140 x 12)が掛け捨て、数年後に加入しようかなあと迷っておられました。⇒ このような考えもありますが、後の加入申請は②が適応されるので、要注意。

《その2》 80歳のBさんは、サプリメントの月額保険料が\$400に達して支払いが困難。今まで大病をしたことがないので、継続するかどうかの相談。⇒サプリメントをやめるなら年間保険料の\$4,800を貯金して、後の医療資金にすることや、広域のプロバイダーをカバーするメディケア・アドバンテージに切り替えるなどのオプション有り。

《その3》 80歳後半のCさんもサプリメントの保険料支払い困難。Cさんは、既に疾患を患いサプリメントがメディケアの自己負担をカバーしていたので、自己負担額とサプリメントの保険料の比較が必要。しかし、今サプリメントをやめると、②で再加入が非常に困難。

このような相談から、次のような考え方もできるのではないかでしょうか。最近、保険料を抑えた高額免責付のGプランが登場しました。例えば、65歳時にサプリメントに加入して5年目に入院を伴う病気をして\$3,000の自己負担が発生した場合：Gプランは、\$200前後（推定額）の自己負担後は全てカバーしますが、4年間の合計保険額は\$6,720（月額\$140）。保険料と治療費自己負担額の合計は\$6,920。

免責型Gは、免責額の\$2,400（推定額）まで自己負担が生じますが、4年間の合計保険額は\$2,400（月額\$50）。保険料と治療費自己負担額の合計は\$4,800となり、Gプランより総自己負担額が低くなります。しかし、それはあくまでの病気になるタイミングと治療額によります。

サプリメントは、自己負担をカバーする点ではメリットがあります。一方で、保険料の値上がり、掛け捨て的な要素もあり、将来を見据えて、継続できるかどうかも考慮すべきポイントになります。

参考サイト：

- ✓ Medicare .gov: メディケア情報の一押しサイト。
- ✓ floridashine.org/Counseling-Sites.aspx : フロリダ州のメディケア相談員（SHINE Counselor）が探せます。

最後に： この記事をご覧になる頃は、まさにメディケアの再検討・変更期間(10月15日～12月7日)、詳細は8月号と9月号をご覗下さい。今回でメディケアの連載は完結編となりました。この連載が皆様のお役に立てれば幸いです。メディケア関連の質問などお気軽にご連絡ください。 happycare65@gmail.com

なお、記事は一般情報の提供を目的としておりますので、アドバイスではないことをご了承下さい。